

「マイナビ 2022年卒大学生 活動実態調査(7月)」を発表 7月末時点での内々定率は78.7%。

内々定保有者の約半数が対面式の内定式を希望していることが判明

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：中川信行）は、2022年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2022年卒大学生 活動実態調査（7月）」の結果を発表しました。（調査期間：2021年7月25日～7月31日）

《TOPICS》

- ◆ 2022年卒業予定の大学生・大学院生の7月末時点での内々定率は78.7%（前年比5.6pt増）
【図1、2】
- ◆ 内々定保有者のうち、約半数が対面形式での内定式を希望。対面形式を望む理由は「企業を訪問したことがないから」や「同期と交流したいから」【図3、4】
- ◆ 未内々定者のうち、就職活動を始めた当初と比べて活動の仕方を変えた学生は約8割。「自己分析のやり直し」や「応募先の選び方を変えた」学生が多く、業界・職種の幅を広げている【図5、6、7】

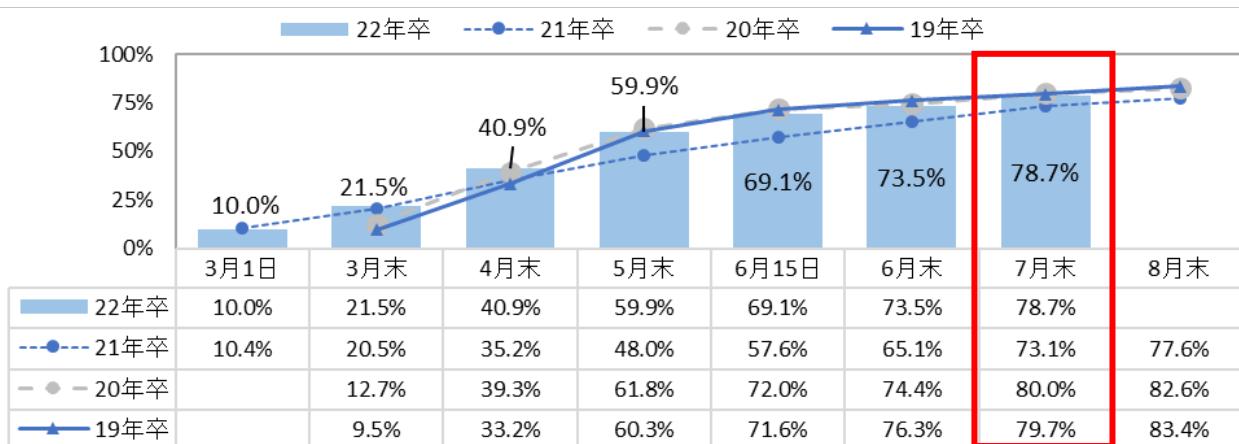
【調査概要】

2022年卒業予定の大学生・大学院生の、7月末時点での内々定率は78.7%（前年比5.6pt増）、平均内々定保有社数は2.2社（前年比0.1社増）となった。【図1、2】

内々定を得た学生に内定式の実施形式について希望を聞いたところ、48.0%の学生が「十分な感染症対策をした上で、対面で実施してほしい」と回答した。学生のコメントからは「一度も企業を訪問できていないから」「同期と交流の機会がほしいから」「入社するという実感がほしいから」という意見がみられた。オンライン中心で就職活動を行ってきた学生は、対面形式の内定式で、社会人になることへの不安の解消や気持ちの切り替えができるることを望んでいるようだ。ただ、内々定者の居住地が勤務地に近いとは限らないことや、新型コロナウィルスの感染状況が予測できないことから、参加形式を希望制にすることや状況次第でオンラインに変更する準備を望む声もみられた。【図3、4】

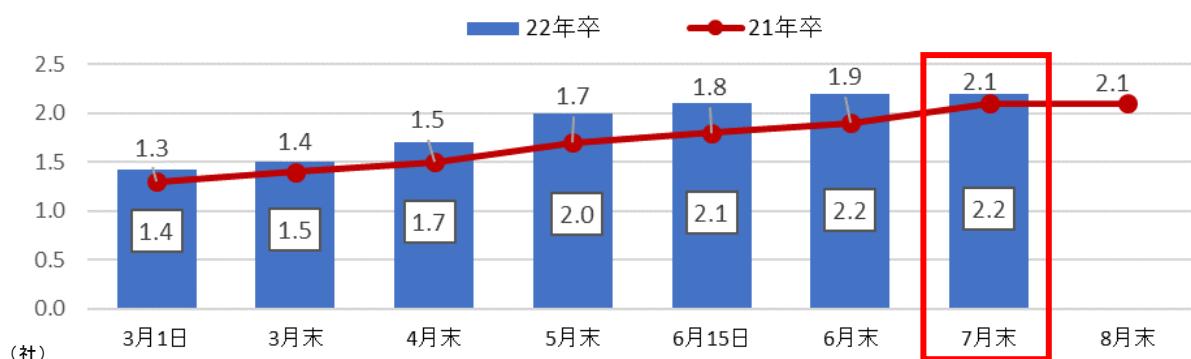
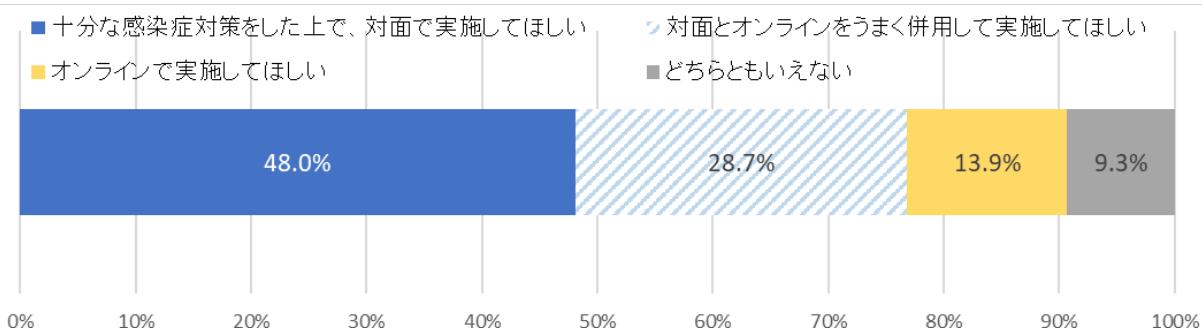
未内々定者に、就職活動を始めた当初と比べて活動の仕方を変えたかどうか聞いたところ、何らかの形で活動の仕方を変えた学生は79.2%だった。最も多いのは「自己分析のやり直し」で44.8%、次いで「応募先の選び方を変えた」が31.2%となった。応募先については、「業界の幅を広げた」が43.4%で最多となり、次いで「業種の幅を広げた」が34.2%となった。就職活動での経験を通して改めて自分自身の適性や活動の軸にしたいことを見直し、応募先を変えていると考えられる。【図5、6、7】

【図 1】内々定率経年比較



※3月1日時点の調査は、2021年卒で初めて実施

【図 2】平均内々定保有社数

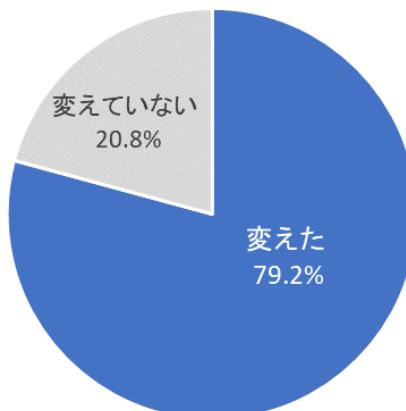
【図 3】<内々定保有者限定>
内定式の実施形式について現在の希望

【図 4】<内々定保有者限定>
対面形式、対面・オンライン併用の内定式を希望する理由（一部抜粋）

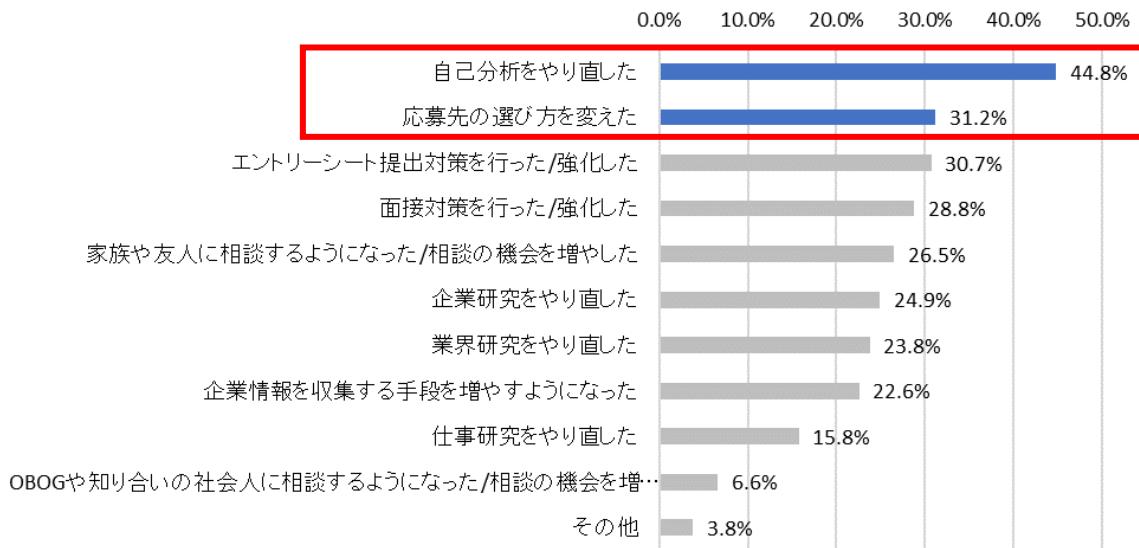
現住所	文理男女	対面形式の内定式を希望する理由
埼玉県	理系女子	インターンシップも面接もすべてオンラインで行ったため、同期になる方どころか人事の方に も直接お会いしたことが一度もない 。入社前に一度直接お会いしてお話をしたいため。また、本社または工場の雰囲気を知りたいため。
秋田県	理系男子	面接がすべてオンラインで行われたため、 入社までに一度は対面でのイベントに参加したい と考えているため。
東京都	文系男子	同期とは、一生の付き合いになると思うし、 入社前に全体で集まる唯一の機会だ と思うので、 対面で、完全な形でやってほしい 。
愛知県	文系女子	内定式で同期と顔を合わせてできる限り多くの人間と関係を築きたい から。同じ年の人と連絡先を交換したり、知り合いになっておくだけでも入社後の安心感が違う。オンラインだと雰囲気が分からなかつたり、大勢で内定式に参加すると通信障害などが起きる可能性がある。
東京都	文系女子	何度か内々定者の懇談会には参加しているが、全てオンラインであるため未だに社会人になるという実感が薄い 。内定式は自分に喝を入れるためにもぜひ対面で実施してほしい。また、未だに一度も会社に訪れたことのないという点も少し気がかりだ。
千葉県	文系男子	他の業界と比べ 対面での仕事がほとんどなので、 対面でコミュニケーションの場としても活用したい 。

現住所	文理男女	対面とオンライン併用の内定式を希望する理由
新潟県	文系女子	対面開催で、同じ新入社員との関わりの場で士気を高めたい。 会社の雰囲気を改めて確認したい。 一方で各地から人が集まる事でコロナウイルスの感染拡大が心配である。また、希望者のみオンライン参加など対面と併用することで地方から参加しやすくなると良いと思う。
茨城県	文系女子	新型コロナウイルスの感染予防はもちろんだが、個人的には勤務地まで距離があるため、 経済的にもオンラインで実施してくれるとありがたい 。反対に、直接会社の先輩、同僚予定の方々と会って話したり、職場の雰囲気を見たりしたい方ももちろんいると思うので、 現在の居住地によって分ける、希望をとるなど、柔軟に対応してほしい 。
長野県	理系女子	地方から内定式会場の東京に行って、コロナウイルスにかかると、帰ってきてから研究室に迷惑がかかるのでオンラインを希望 。ただ、東京に住んでいる方は実際会場に行っても問題ないと思うので、どちらかを選べるといいと思います。
東京都	文系男子	現在と今後のコロナの状況が必ずしも同じとは限らないので、対面とオンラインのどちらか一方に偏った内定式を行う場合、 もしも状況が一変した際に学生と企業ともに変化への対応が難しくなるため、併用した方がその混乱のリスクが低い と思ったからです。
大阪府	理系男子	これからお世話になるところなので対面で開催して欲しい気持ちが強いが、 新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第では臨機応変にオンラインに切り替えていただきたい と考えているため。

【図 5】<未内々定者限定>就職活動を始めた当初と比べて活動の仕方を変えたか

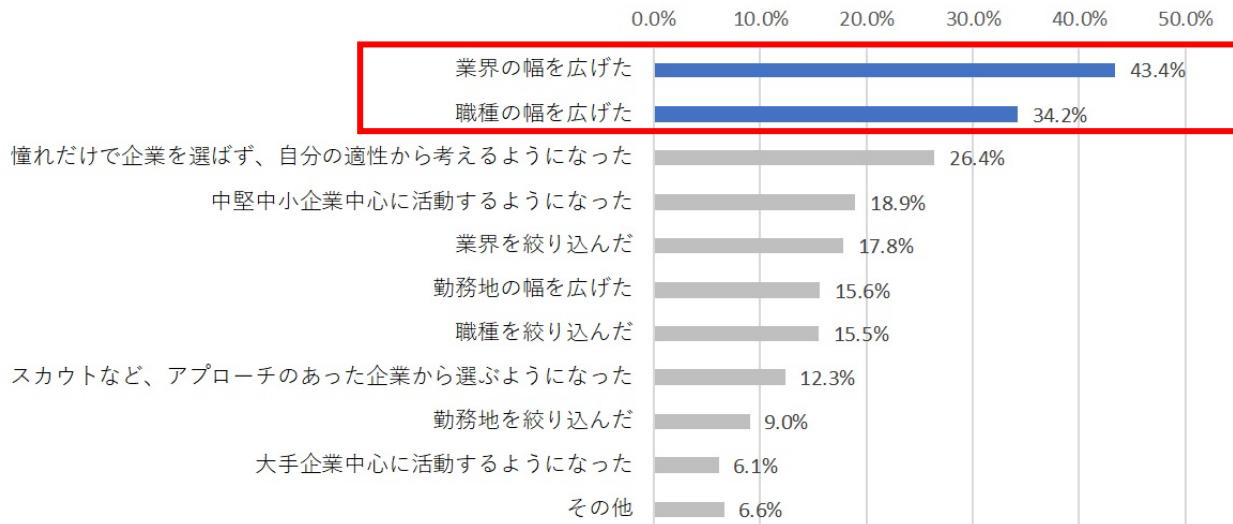


【図6】<未内々定者限定>どのように活動の仕方を変えたか



【図7】<応募先の選び方を変えた学生限定>

応募先の選び方をどのように変えたか



【調査概要】「マイナビ 2022年卒大学生活動実態調査（7月）」

- 調査期間／2021年7月25日（日）～7月31日（土）
- 調査方法／マイナビ2022の会員に対するWEBアンケート
- 調査対象／2022年3月卒業見込みの全国の大学4年生、大学院2年生
- 有効回答数／4,734名（文系男子970名 理系男子843名 文系女子2,084名 理系女子837名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース（<https://www.mynavi.jp/news/>）からご確認いただけます。